

神奈川県ビリヤード協会 -理事会 議事録-

2026.6.24 12:00～ 13:40 Zoom 会議

出席者：安藤・黒岩・田口・荻原・板橋・杉万・石井



| 1

議論内容：

1. KBA 杯の進捗状況
2. 県知事杯の進捗状況
3. 神奈川県知事杯 申請の引継ぎ
4. NBA 総会の話
5. KBA 窓口（事務局用）のメールアドレスの新規作成について（推奨）
6. HP に記載している KBA の問い合わせ先について

議題 1 KBA 杯の進捗状況（説明：荻原）

■背景

KBA 杯の開催準備状況について進捗確認を行った。大会要項およびポスターの作成、ホームページ等での告知、エントリー受付状況を確認するとともに、KPBA が主体となって初めて運営する大会として、現在の準備状況や今後の進め方について共有した。

■発言内容

（荻原）

大会要項およびポスターは完成し、KBA および KPBA ホームページやオンザヒルで公開済みであることを報告した。現在はエントリー受付を開始しており、今後は受付状況を理事へ随時共有しながら大会当日の運営準備を進める予定であると説明した。

また、KPBA 主体で大会運営を行うのは今回が初めてであり、細かな運営面については手探りの部分もあるものの、これまで大会運営の経験を積んできたことから、大会運営自体について大きな不安はないとの認識を示した。

■決定事項

- ・ KBA 杯については予定どおり準備を進める。
- ・ エントリー受付を継続し、受付状況は適宜理事へ共有する。
- ・ 当日の運営準備については KPBA を中心に進める。

■タスク

- ・ 荻原：エントリー状況の中間報告を理事へ共有する。
- ・ 荻原：大会当日の運営準備を継続する。

議題 2 県知事杯の進捗状況（説明：安藤・荻原）

■背景

県知事杯開催に向けた会場選定状況および大会準備の進捗について確認を行った。当初検討していた複数会場案について情報共有するとともに、会場費、運営方法および今後のスケジュールについて協議した。

■発言内容

（荻原）

現在のKBA杯については順調に準備が進んでいる一方、県知事杯については会場決定が最優先課題であると説明した。

候補として「バグース」と「MECCA・POOL LABO の 2 会場開催」が検討されているが、参加人数を 128 名まで拡大すると試合フォーマット上セット数を下げる必要があり、競技性への影響も考慮する必要があると説明した。そのため、まずは 112 名程度での開催を前提としたフォーマット案を検討したいとの考えを示した。

（板橋）

会場の交渉は、十分な検討と説明を行った上で進める必要があり、会場候補ごとの条件を整理したうえで判断すべきであると述べた。

さらに、会場決定が遅れると大会要項や申請作業にも影響するため、早急な対応が必要であると指摘した。

（安藤）

MECCA および POOL LABO の両会場について正式な条件確認を行い、その結果を踏まえてバグースとの比較検討を進めると説明した。

また、バグース担当者とも速やかに連絡を取り、状況を整理した上で理事会へ報告する意向を示した。

（黒岩）

現時点では会場が決定していないため、大会要項やその後の準備作業が進められない状況であることを確認した。

会場選定は最優先事項であり、期限を意識して速やかに結論を出す必要があると述べた。

（杉万）

県への後援申請には大会要項およびポスターが必要であるため、会場決定が遅れると申請スケジュール全体へ影響することを説明した。また、自身の業務都合から 7 月以降は十分な時間を確保できないため、可能であれば 6 月中に会場を確定し、ポスター制作まで完了させたいと要望した。

■決定事項

- ・ 後援申請に間に合わせるため、県知事杯の会場選定を最優先事項として進める。
- ・ MECCA および POOL LABO の正式な利用条件および会場費を確認した上で、バグースを含め比較検討する。
- ・ 会場決定後、112 名を前提とした大会フォーマット案を理事会へ提示し、承認を得た上で大会要項を作成する。

■タスク

- ・ 安藤：MECCA、POOL LABO およびバグースとの交渉を進め、正式な条件を確認する。
- ・ 安藤：交渉結果を速やかに理事へ共有する。
- ・ 荻原：112 名開催を想定した大会フォーマット案を作成し、理事会へ提示する。
- ・ 杉万：会場決定後、ポスターおよび大会要項の制作を進める。

議題3 神奈川県知事杯 申請の引継ぎ（説明：石井）

■背景

石井氏の事務局辞任に伴い、県知事杯開催に必要となる神奈川県、神奈川県議会議会局および神奈川新聞社への後援申請手続きについて、安藤氏へ実務引継ぎを行った。

■発言内容

（石井）

県知事杯開催に必要となる後援申請について、引継ぎ資料を作成したことを説明した。

資料には、申請先ごとの提出期限、必要書類、提出方法、提出先、問い合わせ先、賞状受領方法および大会終了後の報告手続きまで、一連の業務を時系列で整理していることを説明した。

また、申請は大会開催の約3か月前を目安として進めることが望ましく、県・県議会議会局・神奈川新聞社それぞれで提出方法や回答時期が異なるため、余裕を持った対応が必要であると説明した。

さらに、大会終了後には各後援団体へ実施報告を行う必要があり、これまで自身は概ね大会終了後2週間程度を目安として報告を行っていたことを共有した。

（板橋）

会場未確定の状況を踏まえ、会場候補を想定した複数案によるドラフト版資料による申請の可能性について提案した。

（石井）

予算書への影響もあるため現実的には難しいとの見解を示し、会場決定後に正式申請を行う方向を確認した。

（板橋）

石井氏の説明を受け、現時点では会場を決定した上で通常どおり申請を進めることが現実的であることを確認した。

■決定事項

- ・ 石井氏作成の引継ぎ資料を基に、安藤氏へ後援申請業務を引き継ぐ。
- ・ 後援申請は会場決定後、正式な大会要項・予算書等を整えた上で実施する。
- ・ ドラフト版による申請については現時点では採用せず、必要に応じて申請先へ確認する。

■タスク

- ・ 石井：引継ぎ資料を安藤氏へ引き渡す。
- ・ 安藤：会場決定後、必要書類を準備し、期限までに後援申請を行う。

議題4 NBA 総会の報告（説明：安藤・板橋）

■背景

NBA 総会へ出席した内容について報告を行い、役員体制、意思決定のあり方および公益活動に関する議論など、KBAとして今後参考となる事項について情報共有を行った。

■発言内容

（安藤）

NBA 総会では、役員改選に関する議論が中心となり、その他の議案については大きな制度変更等はなかったことを報告した。

（板橋）

役員体制については、理事の定数や選任理由について十分な説明がなされておらず、必要な役員数や職務との関係を明確にした上で体制を構築すべきとの意見を述べた。

また、公益社団法人としてのガバナンスの観点から、理事の選任や重要事項の意思決定については、理事会のみで完結するのではなく、総会との役割分担や意思決定手続きをより明確にする必要があるとの見解を示した。

さらに、理事会限りで重要事項を決定する運営について疑問を呈し、緊急案件については、あらかじめ予備費を設ける、または事後承認の仕組みを活用するなど、総会による統制を維持しながら柔軟に運営する方法も考えられるとの意見を述べた。

公益活動に関しては、滋賀県において NBA 表彰を受けることが行政補助金申請の要件となっている事例が紹介され、公益活動の実績を対外的に証明する仕組みとして NBA 表彰が活用されていることが報告された。一方で、神奈川支部においては直ちに同様の必要性はないものの、今後補助金等を活用する際の参考となる情報として共有した。

また、NBA 総会資料については、前年度資料との共通部分が多いことや、事業計画および予算等について改善の余地があるとの所感を述べ、理事に対し総会資料を確認しておくよう呼び掛けた。

■決定事項

- ・ なし

■タスク

- ・ なし

議題5 KBA 窓口（事務局用）のメールアドレスの新規作成について（説明：石井）

■背景

石井氏の事務局辞任後の運営を見据え、事務局業務と個人メールを分離し、KBA 専用の事務局メールアドレスを新たに作成することについて協議を行った。

■発言内容

（石井）

安藤氏の個人メールアドレスを事務局窓口として利用した場合、個人用メールと KBA 事務局業務が混在し、問い合わせや各種連絡が分かりにくくなる恐れがあると説明した。

そのため、KBA 専用の事務局メールアドレスを新規に作成し、事務局業務を一元管理することが望ましいとの考えを示した。

また、事務局メールを複数の理事が確認できる運用とすることで、担当者が見落とした場合でも他の理事が対応でき、属人化防止や業務継続性の向上につながるとの提案を行った。

（黒岩）

KBA 専用のメールアドレスを用意した方が運用しやすく、問い合わせ管理も分かりやすくなるとの認識を示した。

■決定事項

- ・ KBA 事務局専用のメールアドレスを新たに作成する。
- ・ 事務局業務は個人メールと分離して運用する。
- ・ 必要に応じて複数の理事が確認できる運用方法についても検討する。

■タスク

- ・ 安藤：KBA 事務局用メールアドレスを新規作成する。
- ・ 安藤：事務局メールの運用方法および閲覧権限について整理する。

議題6 ホームページに記載している KBA の問い合わせ先について（説明：石井）

■背景

石井氏の事務局辞任に伴い、KBA ホームページに掲載している問い合わせ先について、今後の事務局体制に合わせた変更内容を協議した。

■発言内容

（石井）

現在ホームページに掲載している事務局のメールアドレスおよび電話番号は、自身が窓口となっているため、事務局体制の変更に合わせて修正する必要があると説明した。

新たに作成する KBA 事務局用メールアドレスを問い合わせ先として掲載し、電話番号についても新体制に合わせて変更することを提案した。

また、これまで自身が対応していた問い合わせについては、当面の間は安藤氏へ集約する方針でホームページを更新したいと説明した。

（黒岩）

提案内容について了承し、新体制に合わせてホームページの問い合わせ先を変更することに異論はない旨を述べた。

■決定事項

- ・ KBA ホームページの問い合わせ先を新体制に合わせて更新する。
- ・ 問い合わせメールアドレスは、新たに作成する KBA 事務局用メールアドレスへ変更する。
- ・ 当面の問い合わせ窓口は安藤氏へ集約する。

■タスク

- ・ 石井：ホームページの問い合わせ先を更新する。
- ・ 安藤：新たな問い合わせ窓口として対応を引き継ぐ。

以上